

## 瓦解

田中小弓

或る日を境に 何かが発射した  
彼女の心のこびとは 花火を目撃した  
イヤリングは ピアスに替わり  
音楽の好みは ロックに変わり  
夕食は 夜食のアイスに代わり  
鼻歌交じりに 夜道をふらふら歩く  
昨日までのしがらみに 追い詰められた頭はくらくら  
不意に 掻き乱された感情はめちやくちや  
咄嗟に走ってみたり 叫んでみたり  
自己肯定感の低い頭じゃ この世間は辛いことばかり  
かつての箱入り娘は 溢れかえる優越感に浸り  
泪の乾いた額に薄ら笑いを浮かべ 何を思う  
「もう赦して」  
そのしなやかな身体は 誰かにとって 幻影となり  
潜んだのは 梅雨のじめじめとした 深夜の暗がり